

令和4年度 スマートアイランド推進実証調査業務

隠岐の島

(島根県 隠岐の島町)

隠岐の島デジタル世代による コミュニティデザイン



《概要》

島の課題

- 西郷港周辺は、島のエントランスとしてかつての賑わいを失い、活性化に向けた早急な整備が必要なため、**合意形成マネジメント**のもと整備を推進している。なかでも「まちづくり拠点のデジタル化」は、**学校と家以外で友だちと話す場所がない**という中高生にとって、まちの将来像を実現するための喫緊の課題となっている。
- 島外から高校の寮に入って学ぶ学生がいる一方、高校から島外へ出てしまう学生もいる。近年では島で働く希望を抱く子どももいるが、**若年層の島外流出**は避けられない状況にある。

調査体制

デザインコンソーシアム	株式会社アテナ
	隠岐の島町
	一般社団法人コンセンサス ・コーディネーターズ
	SUGAWARADAISUKE – 上條・福島設計共同企業体
	ジョルダン株式会社

略称 OCDC


取組概要

- まちづくり拠点のデジタル化【交流・観光】**
子どもから大人まで気軽に立ち寄れる「まちづくり拠点」の通信環境を整え、まちづくりに係わる多様な人の支援により島内外とのコミュニケーションを活性化させる実証。
- 小中高ハイブリッド授業【教育】**
小中高生がまちづくりへ主体的に参加すると共に、専門家のまちづくり授業を受けることで、ふるさとを誇りに思う気持ちの醸成や職業イメージを持つことで定住に繋げる実証。

目指す姿・期待する効果

- これまでの取組と現在の状況**
まちづくりに住民が主体的に係わる**合意形成手法**として、誰でも参加できる場「**まちづくり談義**」からはじまった「**まちづくり計画**」、理論と実践をデザインするデザイン会議発案による「**デザインコンベン**」、都市機能誘導の考え方などをまとめた「**立地適正化計画**」と拠点整備を実現する「**都市再生整備計画**」、これらを具現化するため、令和4年度から事業がスタートする。
- 目指す姿**
 1. 「**海とまちをつなぎ 世代をつなぐまちづくり**」の実現。
 2. 本事業で行う2つの取組による**まちづくり**、**教育**、**交流**、**観光**、**商業**などへの波及効果による**地域活性化**と、**定住人口の確保**。
 3. 将来的には「**スマートシティ**」「**デジタル田園国家構想**」を目標とする。
- 期待する効果**
西郷港周辺の整備は10年以上かかり、**デジタル世代の子どもが青年になるまで続く事業**である。この間、子ども達のためのデジタルを介したまちづくり教育と、コミュニティデザインへの主体的参加により、ふるさと愛の醸成、ふるさとを支える職業人材の育成に繋げ、**有人国境離島の活性化**に期待する。

《主な実証内容》

取組区分	交流・観光 (まちづくり拠点のデジタル化)	教育 (小中高ハイブリッド授業)
実証内容	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり拠点に通信環境を整え、島内外とのコミュニケーションを活性化させる ●子ども達にとってのサードプレイスとして、子ども同士にとどまらず世代を超えた交流を可能とする 	<ul style="list-style-type: none"> ●西郷小学校、西郷中学校、隠岐高校、隠岐水産高校でのまちづくり授業を、リアルとオンラインのハイブリッドで実施 ●授業を受けるだけでなくまちづくりへの主体的参加
活用する技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●高速通信環境の整備 (Wi-Fi環境) ●通信機器の設置によるオンライン交流の実現 ●島外の学識経験者等による専門家コミュニティとのコミュニケーション 	 <ul style="list-style-type: none"> ●リモート環境整備 ●学識経験者や専門家の授業による知見の提供 ●交通のデジタル化技術者による専門家の参画
主な実証項目	<ul style="list-style-type: none"> ●こどもの来訪者数 ●地域住民の来訪者数 ●ビジネス来訪者数 ●オンライン交流数 ●観光客の来訪者数 <p>上記情報から効果を検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり授業回数 ●小中高高校生への満足度アンケート調査 ●ふるさとへの感想、職業への感想 <p>上記から意識を分析</p>
想定される成果	<ul style="list-style-type: none"> ●情報収集・発信の場が継続していくことでまちづくりの合意形成プロセスが円滑に進む ●中高生が集うことで港周辺を訪れる人の数が増えにぎわいを創出する ●島民がデジタル化に触れ学ぶことで、スマートアイランドを実現する 	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり授業により職業やふるさとについて考え、将来の定住人口に繋げる ●オンラインを活用して幅広い知識を吸収するとともに、デジタル教育に繋げる